

[図書館] 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H28 度計画額（単位：千円）		H28 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	図書館事業	B	31,765	33	2	6.4
合 計			31,765	33	2	6.4

■特記事項

図書館長は、歴史民俗資料館長と兼務
 臨時職員が1名退職したため、新たに1名の司書を採用した。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	図書館	No.	01		
事業名	図書館運営事業				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	<p>○本との出会いを提供し、小さな時から身近に本にふれ、本に親しむ習慣を育む支援を行う。</p> <p>○日々の生活や仕事、個々の趣味や団体の活動に役立つ図書の収集に努め、住民にとって必要とされる図書館、役に立つ図書館にする。</p> <p>○図書館の利用を通じて、年齢を問わず誰もが生涯にわたって知的好奇心や生きがいを持てるように支援する。</p>				
事務内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算・決算及び経理に関すること ・ 図書館の調査及び統計に関すること ・ 図書館の広報に関すること ・ 図書館年報の作成 ・ 図書資料の貸出・返却に関すること ・ レファレンス(参考調査)に関すること </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料の選書に関すること ・ おはなし会・上映会等のイベント開催に関すること ・ 図書館資料の分類・整理及び目録作成・保管に関すること ・ その他必要な業務 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算・決算及び経理に関すること ・ 図書館の調査及び統計に関すること ・ 図書館の広報に関すること ・ 図書館年報の作成 ・ 図書資料の貸出・返却に関すること ・ レファレンス(参考調査)に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料の選書に関すること ・ おはなし会・上映会等のイベント開催に関すること ・ 図書館資料の分類・整理及び目録作成・保管に関すること ・ その他必要な業務
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算・決算及び経理に関すること ・ 図書館の調査及び統計に関すること ・ 図書館の広報に関すること ・ 図書館年報の作成 ・ 図書資料の貸出・返却に関すること ・ レファレンス(参考調査)に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料の選書に関すること ・ おはなし会・上映会等のイベント開催に関すること ・ 図書館資料の分類・整理及び目録作成・保管に関すること ・ その他必要な業務 				
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会全体の流れとして本離れが進んでいて、大口町の図書館利用者数も平成 21 年度をピーク（53,949 人）として、その後は減少傾向にある。 ・ 現在の図書館は中央公民館の 3 階にあり、エレベーターや通路の狭さ、高い書架など、車イスや乳幼児・高齢者には利用しにくい施設となっている。 ・ 近年の図書館は、「貸出し中心」から「滞在型」に移行する傾向にあるが、開館から 37 年が経過し、施設の容量に限界があるため、蔵書数の拡充・閲覧席の増設・視聴覚資料閲覧用の機器設置など、多様化・高度化する住民ニーズに応えることが困難な状況である。 ・ 13 歳～29 歳の利用（平成 27 年度 7.8%）が他の年齢層と比べて非常に低くなっている。 ・ 成人、特に高齢者に対して、図書館の利用促進を図る取り組みが出来ていない。 ・ 図書館ボランティアの育成や町内の子育て支援グループ等との連携が十分ではない。 ・ 郷土資料は、その保存を目的として収集されているが、町を知り、郷土に愛着と誇りを持つために、郷土資料を広く提供することが求められている。 				
平成 28 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の施設の容量には限界があるため、住民や利用者の声を反映させながら、多様化・高度化する住民ニーズに応えるため、新図書館を含めて多様な世代が集う「ひと・モノ・情報・文化の交流拠点」の建設を検討する。 ・ 図書館の利用促進を図るため、ご意見箱の設置など積極的に情報収集を行い、利用者ニーズに合った選書に努めると共に、新たに開始した読書通帳や雑誌等のスポンサー制度を推進する。 ・ 平成 27 年度から開始した図書館通信やホームページ、あんしん・安全メールの発信、公共施設へのポスター掲示、保育園・学校を通じてのチラシ配布など、積極的に図書館からの情報発信に努める。 				

平成 28 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none">・おはなし会や上映会等を定期的に開催して、子ども達に図書館の楽しさや本のおもしろさを伝える。・特設コーナーの展示(季節の本・上映中の映画の原作本・流行本等)により、利用者に新しい本との出会いの場を提供する。・保健センターの1歳6か月健診や各児童センターでの出張読み聞かせを継続して、子どもには小さいうちから本に興味を持ってもらえるように、保護者には読み聞かせによる子どもとのふれあい等の大切さを伝える。・学校司書連絡会に参加し、図書館と学校との連携を図る。・平成 27 年度から始めた憩いの四季との共同開催の「憩いの四季・図書館まつり」を継続して、新たな利用者の開拓に努める。・読み聞かせ講習会等を実施してボランティアの人材育成や家庭での読み聞かせ推進に努める。また、子育て支援ボランティアと連携を図り、読み聞かせ会等を共同で開催して、活動の場を提供する。・成人や高齢者向けの読み聞かせ会やブックトークの実施を検討する。・過去から現在まで幅広い郷土資料を積極的に収集して、歴史民俗資料館とも連携しながら積極的に資料提供に努める。
--------------------------	---

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	◆「子どもの読書週間おはなし会」 4月23日（土）参加者30名
5	子どもの読書週間 4月23日～5月12日
6	○「がんばれ！子ども一日司書さん」対象小学校5・6年（午前・午後 合計12名） ○「図書館本のリユース」
7	○「キラメク星座プラネタリウム」委託事業 7月16日（土）参加者116名
8	●第1回 図書館協議会開催
9	◇「夏休みおはなし会」（ボランティア団体）8月6日（土）参加者62名 △「夏のこども映画会」図書館所有のDVDの上映 9月25日（日）参加者89名
10	図書館特別休館 9月5日（月）～9月13日（火） ●第2回 図書館協議会開催（先進地図書館視察） ○さくら大学での「大人の朗読会」
11	◆「読書週間おはなし会」 10月29日（土）参加者41名 読書週間10月27日～11月9日 ○ふれあいまつり図書館参加（絵本等の展示・ペーパークラフト）
12	●第3回 図書館協議会開催
1	◇「クリスマスおはなし会」（ボランティア団体）12月17日（土）参加者91名 △「冬のこども映画会」図書館所有のDVDの上映 1月21日（土）参加者97名
2	○「おはなしサポーター養成講座」5日
3	◎「憩いの四季・図書館まつり」大型絵本仕掛け絵本の展示・映画会&おはなし会 2月11日（土）参加者26名 12日（日）54名 ●第4回 図書館協議会開催 ◇「春だよ！おはなし会」（養成講座参加者）3月11日（土）参加者65名
毎週	図書館資料の選書（各誌ランキング・書評・リクエスト等から） 図書の開架・書庫への移動・除籍の検討 児童センターへ訪問してのおはなし会の実施（北・西・南に月1回ずつ訪問）
毎月	月報の作成 1歳6か月健診での読み聞かせ みんな集まれおはなし会 月2回開催 第2木曜日の職員全体会での情報共有と職務内容等の検討 館内チラシ「図書館通信」の作成 広報おおぐち「図書館だより」作成 雑誌のリユース
その他	年報の作成 郷土資料の整理収集 ホームページで行事等の紹介 図書館内での特設コーナー（2週間～1月） 中央公民館玄関での特設コーナー（1月～2月）

□3 年間の目標

目標	・利用者の増加 ・新施設（人が集まる空間）の建設					
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標
図書館利用者	22,000 人	30,361 人	43,000 人	44,000 人	45,000 人	46,000 人
読み聞かせ会参加者	1,000 人	1,156 人	1,200 人	1,300 人	1,400 人	1,500 人

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	・人が集まる空間づくり検討委員会による検討 ・
H29 年度	・人が集まる空間（新施設）基本設計及び詳細設計 ・
H30 年度	・人が集まる空間（新施設）建設または改築 ・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	28,126	29,415	31,765
(内特定財源)		千円	10	15	33
人工	職員	人工	2.0	2.0	2.0
	臨時職員	人工	7.0	6.4	6.4
	計	人工	9.0	8.4	8.4

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
書籍忘失等代金	21	14-2-1 (使用料及び賃借料)
雑誌サポーター支援費	12	
合計	33	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
1-1-1 図書館委員報酬	95	47	新図書館建設に向けて図書館協議会を年2回から年4回に増加
13-11-1 新刊情報入力委託料	804	242	平成28年9月分まで前払いにより支払っていたものが切れるため
13-15-1 子どもの読書推進委託料	62	62	子どもに本に興味を示してもらうきっかけ作りとしてプラネタリウムを開催
18-1-1 図書館用備品購入費	3,422	2,686	図書館電算機器更新

■特記事項

平成28年度に(仮称)人が集まる空間づくり検討委員会開始。
事務局については、地域振興課と協働して実施する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

おはなし会や上映会、移動プラネタリウム等のイベントを計画通りに実施できた。夏休みおはなし会とクリスマスおはなし会は子育て支援団体と協働で開催した。「さくら大学」で大人向けの読み聞かせを行い、図書館のPRを行った。

利用者に幅広く本に興味を持ってもらうことを目的とした特設コーナーでは、その時期話題になった出来事や注目されている作家さん、テレビや映画の原作本などの特集を行うとともに、より多くの方の目に留まる様に、造形物などを作成して展示方法にも工夫した。

保健センターの1歳6か月健診や各児童センターでの出張読み聞かせを継続して実施するとともに、図書館に興味を持ってもらうために1歳6か月健診で配布している「1歳6か月のパパ・ママへ」と「赤ちゃんにすすめる絵本リスト」を新たに作り直した。

学校司書連絡会に出席して、小中学生が今どんな本に興味を持っているのかのニーズの把握に努めるとともに、図書館主催の研修会に学校司書が参加するなど、図書館と学校図書館の連携を深めた。町内の小学5・6年生を対象とした司書体験講座も実施した。

新規の事業として雑誌スポンサー制度を導入し、広報紙でPRするとともに、商工会や尾北医師会、尾北歯科医師会を通じて、積極的に戸別訪問を行った。

また移動プラネタリウムを初めて開催し、星・宇宙・星座・ギリシャ神話などの企画展示を同時開催することで、新たな図書館利用者の開拓に努めた。

2年目を迎えた「憩いの四季・図書館まつり」では、新たに1団体が加わり、企画展示で使用した「絵本のパンが本物に」は好評で、後日3児童センターに貸し出した。

同じく2年目の「おはなしサポーター養成講座」では、2日目の「絵本ライブ&トーク」をオープン講座として、受講生以外の方にも参加していただいた。講座最終日の「春だよ！おはなし会」では、観客を前にして受講生が絵本の朗読を体験した。

今年度初めて、近隣の読み聞かせボランティア交流会に参加した。

郷土資料として大口町が作成した各種計画等の収集に努めた。松江市との友好都市提携を記念して、堀尾吉晴公に関連した企画展示を行った。また気軽に郷土のことを知ってもらえるように、カウンター前の書架に大口町史等を常設した。

■ 評価

事業成果の指標の一つである利用者数は、平成27年度42,560人から、平成28年度43,455人となり、895人増加した。また貸出点数も平成27年度228,871冊から、平成28年度236,321冊となり、7,450冊増加した。

今年度はおはなし会や上映会、移動プラネタリウム等のイベントを11回開催し、727人の参加者があった。子育て支援団体と協働したおはなし会の開催も定例化し、「憩いの四季・図書館まつり」は悪天候に悩まされたが、図書館の貸出者数は平成27年度543人から平成28年度555人と増加した。

今年度新たに実施した移動プラネタリウムは、大人にも子どもにも好評だった。同時に実施した星・宇宙・星座・ギリシャ神話などの特設展示は多くの方に本を借りていただくことが出来た。次年度以降は学校事業として継続してほしかったが、うまく引き継ぐことができなかった。

各児童センターでの出張読み聞かせについては、図書館職員が来ることを待っていてくれる親子がいるようになった。ふれあいまつりのペーパークラフトには、234人（前年比+41人）が参加し、図書館に興味を持つきっかけ作りができた。

図書館からの本に関する情報発信として行っている「図書館通信」は、本年度から温水プールでの掲示も開始し、3か所での掲示となり、持ち帰りの枚数も多くなった。企画展示に関しては、本年度より3か所となり、立ち止まって本をみて、借りていかれる方が多くなった。

今年度新たに導入した「雑誌スポンサー制度」には、6事業者がスポンサーとして登録していただき、予算内で高齢者向け・ヤング向けなどの新たな雑誌の購入を始めることができた。

一宮市のろう学校から職場体験の依頼があり、町内在住の高校2年生1名を受け入れた。司書の仕事を体験していただきながら、さくら大学で実施した大人向けの読み聞かせ会も体験してもらった。読み聞かせが終わると、生徒さんと記念写真を撮るお年寄りや握手の行列ができるほど人気者になった。今後は進学して、教員か図書館司書を目指したいと話していた。図書館としては初めての受け入れだったが、お互いにとってもいい経験ができた。